

# 平成23年度病害虫発生予察指導情報

( ナシ・ハダニ類 )

平成23年12月21日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均2.0頭（前年：0.0頭、  
平年：6.4頭）で前年よりやや多く、平年よりやや少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭（前年：0頭、平年：0.0頭）で、今回の調査では確認できなかった。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり1.4個（前年：4.4個、平年：3.8個）で前年及び平年よりやや少ない。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ（成虫）			ナミハダニ（成虫）			クワオオハダニ（越冬卵）		
	本年	前年	平年 <sup>1</sup>	本年	前年	平年 <sup>1</sup>	本年	前年	平年 <sup>1</sup>
東部	鳥取市 祢宜谷	0	0	0.3	0	0	0	0	0.7
	鳥取市 佐治町	0	0	18.0	0	0	0.0	0.0	5.0
	鳥取市 青谷町 <sup>2</sup>	0	0	0.8	0	0	0.0	1	0.6
	八頭町 花原 <sup>3</sup>	1.2	0	1.6	0	0	0	2	1.5
中部	倉吉市 中野 <sup>4</sup>	0	0	0.1	0	0	0	0	1.2
	湯梨浜町 別所	8.3	0	4.4	0	0	0.1	9.2	4.8
	北栄町 由良宿	0.1	0.1	2.2	0	0	0	0.8	10.9
	琴浦町 竹ノ内 <sup>3</sup>	10.8	0	0.2	0	0	0.0	0	10.6
西部	大山町 坪田 <sup>4</sup>	0	0	0.6	0	0	0.0	0.5	4.0
	南部町 朝金 <sup>5</sup>	0	0	35.9	0	0	0.0	0.0	25.1
県平均		2.0	0.0	6.4	0	0	0.0	1.4	4.4

<sup>1</sup>：平年はH13～22年の平均値

<sup>2</sup>：平年はH15～22年の平均値

<sup>3</sup>：H20年から調査地点変更

<sup>4</sup>：H21年から調査地点変更

<sup>5</sup>：H23年から調査地点変更

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。  
12月に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。  
同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

## 2. 防除上注意すべき事項

本年は、秋期にカンザワハダニの発生数が増加する事例が散見されており、巡回調査結果でもカンザワハダニの越冬量が前年よりやや多くなっている。秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

### （1）誘殺バンドの取りはずし

主枝や亜主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

### （2）粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

### （3）薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤（ハーベストオイル）50倍液を散布する。